



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2022年2月 第249号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

** 図書館カレンダー **

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺 愛東

永源寺図書館東側 通行できません

永源寺図書館東側の交差点は、ラウンドアバウト(環状交差点)化工事のため、通行止めになっています。恐れ入りますが、国道421号線の「山上小学校前」から和南町を經由しておいください。

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



湖東

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

** 2月の映画会 **

<永源寺図書館>

19日(土) 14:00~16:10

「蔵」(邦画)

<湖東図書館>

12日(土) 14:00~16:40

「喜びも悲しみも幾歳月」(邦画)

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時~18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時~17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時~18時
(木曜日のみ20時まで)
tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

関西の温泉とおやつ

京阪神発半日徒歩旅行

胃は歳をとらない

文系のためのよくわかる死とは何か

保健所の「コロナ戦記」TOKYO2020-2021

わたしに効くハーブ大全

佐藤 徹也／著

三輪 洋人／著

小林 武彦／監修

関 なおみ／著

小早川 愛／著

京阪神エルマガジン社

山と溪谷社

集英社

ニュートンプレス

光文社

主婦の友社

『にっぽん全国おみやげおやつ』 甲斐みのり／著 白泉社

“おみやげおやつ”と聞くとなんだか心が躍ります。味はもちろん、美しく遊び心あふれるお菓子の色や形、そして魅力的なパッケージも、おみやげおやつの楽しみの一つ。「お菓子は人生の研究テーマ」と言う文筆家、甲斐みのりさんが全国47都道府県からおすすめの品を紹介します。愛らしいお菓子の数々に「お取り寄せもいいけれど、いつかこのお菓子を買いにその土地を訪れてみたい！」と思えることうけあい。滋賀からは菟寿堂本舗の糸切り餅と糸切り飴、糸切りよーち(ビスケット)が紹介されています。ぜひ本書で“日本全国おやつの旅”をお楽しみください。



ワンピースのおんな

キッチンから始める人生の整理術

たのしみノートのつくりかた

松野家の荒物生活

かぎ針編みのおざぶとかご

50代からの髪がみるみるよみがえる！美髪ケア大全

毎日おいしい！土鍋レシピ

まだ毎日が最後の晩餐

“泣いてもいいんだよ”の育児

宇壽山 貴久子／写真

村上 祥子／著

杉浦 さやか／著

松野 弘／著

齊藤 あき／監修

福森 道歩／講師

玉村 豊男／著

峯田 昌／著

草思社

青春出版社

祥伝社

小学館

NHK出版

主婦の友社

NHK出版

天夢人

自由国民社

社会・教育・福祉

北条義時

聖徳太子の文化観光資源化調査報告書

炎上するバカさせるバカ

ハブられても生き残るための深層心理学

東大名誉教授がおしえる！建築でつかむ世界史図鑑

半藤一利語りつくした戦争と平和

「定年」からでも間に合う老後の資産運用

父がひとりで死んでいた

岩田 慎平／著

歴史資源開発機構／編

中川 淳一郎／著

きたやま おさむ／著

本村 凌二／監修

半藤 一利／述

風呂内 亜矢／著

如月 サラ／著

中央公論新社

東近江観光振興協議会

小学館

岩波書店

二見書房

東京新聞

講談社

日経BP

『平等ってなんだろう？』 齋藤純一／著 平凡社

現代社会は、自由で平等である。日本国憲法にも「法の下での平等」がうたわれているし、日々の生活の中ではとくに意識もしないこと……ですが、わたしたちはほんとうに自由でしょうか。平等でしょうか。そもそも、自由や平等ってどういうことなのでしょう。学歴が高いほどよい給料をもらえるのは平等？ 女性の社会進出のために「枠」を設けるのは平等？ 考え出すと、夜も眠れなくなりそうです。そんな疑問を、不平等に困っている人々のことや、平等を実現するための手段を紹介しながら、早稲田大学の教授がときほぐします。



「食べる」介護のきほん

齋藤 真由／著

翔泳社

児童養護施設という私のおうち

田中 れいか／著

旬報社

「塾なし」高校受験のススメ

塚松 美穂／著

プレジデント社

自然・ビジネス・産業

火星の歩き方

臼井 寛裕／著

光文社

手を眺めると、生命の不思議が見えてくる

稲垣 栄洋／著

家の光協会

会社法のツボとコツがゼッタイにわかる本

大越 一毅／著

秀和システム

なぜ、日本の職場は世界一ギスギスしているのか

沢渡 あまね／著

SBクリエイティブ

ていねい図解！初心者のための投資信託教本

福田 由美／著

日本橋出版

『ニワトリと卵と、息子の思春期』 繁延あづさ／著 婦人之友社

「ゲーム買うのやめるからさ、その代わりニワトリ飼わせて」小6の長男の目的は卵を売りお金を得ること。「ペット」ではなく「家畜」として飼うのだと周到に「にわとり飼育計画書」を用意して行動開始。親子の攻防の末に、家にニワトリがやってきて、地域の人たちに助けられながらの養鶏生活が始まりました。ニワトリの世話をすること、卵を収穫し売ること、お金を稼ぐこと、そして「生き物」を食べること……。一筋縄ではいかないことが連続する中、思春期の息子とぶつかり、ともに命と向き合う日々をとおして、養鶏を機に変化していく5人家族の姿が綴られています。



ビーカーくんがゆく！工場・博物館・実験施設

うえたに夫婦／著

誠文堂新光社

流域治水がひろく川と人との関係

嘉田 由紀子／編著

農山漁村文化協会

仕事に使えるYouTube動画術

家子 史穂／共著

翔泳社

近江を中心とした伝統野菜文化史

佐藤 茂／著

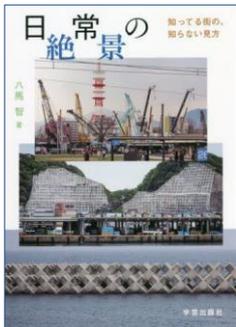
養賢堂

世の中にないものをつくれ！

大下 英治／著

エムディエヌコーポレーション

芸術・趣味



『日常の絶景 知ってる街の、知らない見方』 八馬智／著 学芸出版社

山肌を覆うコンクリート壁や、ビルを這うダクトの迫力に思わず見入ってしまうことはありませんか？身の回りで見つけた気になる人工物の写真を集めた本書。そこには、自然の景色を見るのとは違い、作りだした人や使う人の日常の営みに思いをはせる面白さがあります。一つ一つについて調べてみると、「なるほど、そうだったのか」といった背景に気づかされることも。ほんの少し視点を変えてあたりを見渡せば、あなたのすぐ近くにも思わぬ絶景が潜んでいるかもしれません。

近江の瓦にみる美を訪ねて

辻村 耕司／写真

かわらミュージアム

潜水艦事典

JShips編集部／編

イカロス出版

花と短歌でめぐる二十四節気花のこよみ

俵 万智／案内人

KADOKAWA

関西の鉄道関東の鉄道勝ちはどこ？

小林 拓矢／著

河出書房新社

人生の達人・堀文子の生き方

堀 文子／著

中央公論新社

くらしを彩る植物文様

東近江市能登川博物館／編

東近江市能登川博物館

暮らしの民藝

萩原 健太郎／著

エクスナレッジ

柚木沙弥郎

平凡社

ジャズの聴き方を見つける本

富澤 えいち／著

ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
ミュージックメディア部

大人もハマる！韓国ドラマ推しの50本

渥美 志保／著

大月書店

トラック走を極める！陸上競技中長距離

松井 一樹／監修

メイツユニバーサルコンテンツ

これでいいのか登山道

登山道法研究会／編

山と溪谷社

ことば・文学・小説

人生の土台となる読書

いつもの言葉を哲学する

カタカナ外来語ABC略語辞典

企業と経済を読み解く小説50

文豪ナビ藤沢周平

夏井いつきの世界一わかりやすい俳句鑑賞の授業

pha／著

古田 徹也／著

堀内 克明／監修

佐高 信／著

新潮文庫／編

夏井 いつき／著

ダイヤモンド社

朝日新聞出版

自由国民社

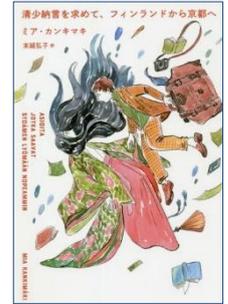
岩波書店

新潮社

PHP研究所

『清少納言を求めて、フィンランドから京都へ』 ミア・カンキマキ/著 末延弘子/訳 草思社

一千年前の日本人が書いたエッセイを、とても身近なものに感じたフィンランド人のミア。清少納言について研究するために1年の長期休暇を取って京都にやってきます。清少納言のことを「セイ」と呼んで親しく語りかけるミア。彼女にとって枕草子はセイの大好きが詰まった「ものづくりリスト」です。そんな枕草子を思いうかべながら、ミアは京都での日々をつづります。その様子はまるで、平安人のツイートに現代人がリプライを送っているようです。フィンランドからやってきたミアが、京都での生活の何におどろき、感動したか、そして最後に「セイ」の何を発見するのでしょうか。



- | | | |
|--|-------------|----------|
| 『赤と青とエスキース』 オーストラリアから日本へ、ある絵をめぐる物語。本屋大賞候補作 | 青山 美智子／著 | PHP研究所 |
| 『底惚れ』 自分を刺した女を求め、男は女郎屋を営む。ハードボイルドな時代小説 | 青山 文平／著 | 徳間書店 |
| 『つごもり淡雪そば 冬花の出前草紙』 冬の夜に託された子を育てつつ料理屋を営む女性 | 有馬 美季子／著 | 祥伝社 |
| 『蚕の王』 昭和25年「二俣事件」。警察と司法が組んで行われた犯人捏造の実態とは | 安東 能明／著 | 中央公論新社 |
| 『パラソルでパラシュート』 人生に惑う29歳の契約社員とお笑い芸人とその仲間たち | 一穂 ミチ／著 | 講談社 |
| 『ひとりでカラカサさしてゆく』 大みそかの夜、ホテルで命を絶った80代の男女3人 | 江國 香織／著 | 新潮社 |
| 『愚かな薔薇』 母の故郷で行われる長期キャンプの目的は。美しくおぞましい吸血鬼 SF | 恩田 陸／著 | 徳間書店 |
| 『吾妻おもかげ』 遊女たちの心意気に励まされ、男は再び絵筆をとった。菱川師宣の生涯 | 梶 よう子／著 | KADOKAWA |
| 『ロミオとジュリエットと三人の魔女』 シェイクスピアのオールスターでどたばた劇！ | 門井 慶喜／著 | 講談社 |
| 『ミーツ・ザ・ワールド』 焼肉疑人化漫画をこよなく愛する女子がキャバ嬢に出会って | 金原 ひとみ／著 | 集英社 |
| 『アスベストス』 石綿が平穏な人生を奪った——仙台、ロンドン、東京、尼崎の現場を綴る | 佐伯 一麦／著 | 文藝春秋 |
| 『異変ありや 空也十番勝負6』 重傷を負った空也は意識不明に。懸命の看護を続けるが | 佐伯 泰英／著 | 文藝春秋 |
| 『偽装同盟』 ロシアの属国と化した日本で、警察官の矜持を貫けるのか。『抵抗都市』続編 | 佐々木 譲／著 | 集英社 |
| 『六花城の嘘つきな客人』 結婚相手選びに集められた貴公子たち。だが肝心の娘は…… | 白洲 梓／著 | 集英社 |
| 『天下小僧壱之助五宝争奪』 強欲な金持ちから宝を盗む。しかし美女が行く手を阻んで | 鷹井 伶／著 | 早川書房 |
| 『真夜中のマリオネット』 婚約者を殺された救急医が救ったのは殺人鬼？ それとも…… | 知念 実希人／著 | 集英社 |
| 『遺言歌』 眠れ、わが魂よ。永遠なる自由のなかで、眠れ——天才作家、渾身の私小説 | なかにし 礼／著 | 河出書房新社 |
| 『おわかれはモーツァルト』 盲目のピアニストと殺されたライター。岬洋介シリーズ第7弾 | 中山 七里／著 | 宝島社 |
| 『丘の上の賢人 旅屋おかえり』 売れないタレント・丘えりかは、依頼人に代わり旅をする | 原田 マハ／著 | 集英社 |
| 『岡っ引黒駒吉蔵』 伝説の黒駒を乗り回す、甲斐国生まれのわけあり岡っ引が大活躍 | 藤原 緋沙子／著 | 文藝春秋 |
| 『山亭ミアキス』 森の中の不思議な宿には、今日も救いを求める者がやってくる | 古内 一絵／著 | KADOKAWA |
| 『四十過ぎたら出世が仕事』 トラブルに無能な上司、秘密の悩み。課長たちは日々奮闘 | 本城 雅人／著 | 祥伝社 |
| 『にべ屋往来記』 関ヶ原から15年。東海道から身延山道に入った旅籠の悲喜こもごも | 村木 嵐／著 | 文藝春秋 |
| 『きりきり舞いのさようなら』 十返舎一九、一世一代の野辺送り。シリーズ第4弾 | 諸田 玲子／著 | 光文社 |
| 『ミトンとふびん』 たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて、生きていく | 吉本 ばなな／著 | 新潮社 |
| 『死ぬまで、働く。97歳・現役看護師の「仕事がある限り働き続ける」生き方』 | 池田 きぬ／著 | すばる舎 |
| 『声を上げる、声を届ける ラジオ報道の現場から』 日々取材に奔走。令和のラジオ論 | 澤田 大樹／著 | 亜紀書房 |
| 『ゴルフアーズ・キャロル』 橋から身を投げようとしていた男。親友の幽霊に導かれて | ロバート・ベイリー／著 | 小学館 |

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。